

令和元年度指定管理者モニタリングシート（平成30年度実績）

1 施設等の概要

施設名	滝山地区センター		所管課	福祉保健部福祉総務課（内線2508）	
指定管理者名	株式会社セイウン		指定管理者所在地	埼玉県さいたま市桜区田島9-31-1	
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	利用料金制の有無	無	他自治体での指定管理者実績	調布市、清瀬市その他多数
施設の設置目的	市民及び地域社会の福祉増進を図るため、地区センターを設置し、広く市民の利用に供する。				
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	老人福祉センター部分として、60歳以上の高齢者を対象に無料で娯楽室、団らん室、浴場の運営を行い、また、地域のコミュニティ施設として、それ以外の年齢の者を含め、会議室を貸している。				

※本施設は平成18年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成28年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況

市決算額	28年度	29年度	30年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
				29年度-28年度	30年度-29年度		28年度	29年度	30年度	29年度/28年度	30年度/29年度
指定管理料	4,039,000	4,039,000	4,039,000			4,039,000					
使用料	228,520	218,330	213,800	0	0		35,278	36,879	35,192	104.5%	95.4%
成果配分金											

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄：指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載(市の決算上は翌年度収入)

3 モニタリング評価

評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	3
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	4
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	2
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	3
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	4
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	3
	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	4
経費の節減など効率的な運営	＜収支の改善等＞利用者の増、経費の削減などの収支状況改善に向けた取り組みをしつつも、利用者にとって適正な運営をしているか	3
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	3
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	3
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	3
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	3
	＜職員の専門性、配置体制＞職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	3
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
	＜経営基盤＞指定管理者(母団体)は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	4
施設の特徴によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画等を参考に、評価の視点を設定する	＜サービスの提供内容＞老人福祉センター部分は、老人福祉法等の関係法の趣旨が生かされているか、また、コミュニティ部分は独自性も加味されているか	3 ※本項目に係る評価点については、4倍にすることとする
合計点数		63点/100点

※評価は、5(期待を大きく上回る)、4(期待以上)、3(期待通り)、2(期待をやや下回る)、1(期待を下回る)の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）

*3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・副統括責任者を常駐させるなど、人員体制も確立し運営にあっている。
- ・幅広い年齢層により、地域センターと一体となってセンターまつりを実施しており、地域と密着した施設運営をしている。
- ・老朽化に対する自主的な点検、早期の修繕対応等を行っている。
- ・利用者満足度調査から、要望等を聞き取り新たな事業の実施等に取り組んでいる。
- ・地区センター給湯関係設備の一部で、平成29年度に未実施だった点検項目があったため、チェック体制の再構築を行った。

5 総合評価

公平な使用の確保	市民サービスの向上	経費節減など効率的な運営	安定的な施設サービスの継続的な提供	施設の特徴によるサービス提供
・公平性の確保	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	・設定した評価の視点

6 次年度以降に向けた方向性

*3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- ・地域センターでのイベント等の取り組みを活かし、地区センター独自の取り組みに反映していただきたい。
- ・施設の老朽化対応にもノウハウを活かし、事故等が発生しないよう安定した運営を期待したい。
- ・地域の高齢者対策に目を向けて、積極的な情報収集を期待したい。
- ・利用者数が減少傾向であるため、更なるスタッフの創意工夫に期待したい。